



# たきこみごはん

「たきこみごはん」は、福祉保育労東海地本 障害協議会の活動などを紹介するニュースレターです♪

## ★ 障害協総会を行い、議長・副議長決まる！！

11月21日（金）に「2014年度障害協議会 総会」があり、新たな役員体制が決定しました。以下、新役員さんの挨拶です。

### ～障害協議会議長挨拶～

そよ風分会の田部井☆一です。この度障害協の議長となりました。

障害協は多分5年目になります。私は組合活動に消極的です。その理由は仕事が忙しい中で、時間が削られるからです。でも、組合への意識は変わってきました。理由は2つあります。

1つ目は組合のない職場の現状です。長時間労働、休日出勤、退職が繰り返され人が育たない…。組合が無いと何も言えず、職員間の愚痴で終わります。仲間がいて、行動ができる場の必要性を感じました。2つ目は2003年、支援費制度に伴う障害者の民調制度の廃止です。給料の額や運営実態が大きく変わりました。一度無くなったものは元に戻らず、苦しさ・しんどさが残ります。悔いが残る出来事です。障害協の活動を通して、「仲間」「運動」の必要性を教えてくださいました。2つのことを大切に、次の人に伝えていければと思います。障害協で活動するのが最後の年だと思い、頑張ります！！

### ～障害協議会副議長挨拶～

めいほく障害部分会の梶村和弘です。今年度の障害協の副議長になりました。家庭都合で参加できないこともあります。よろしくお願いします。

近頃の自分のテーマが「基本」「原点回帰」ということで、組合も「福祉は権利」「分会が基本」「仲間がいるってうれしいね」の基本に立ち返り、障害協を盛り上げていきたいと思っています。

趣味は「音楽」、ギターを弾いたり、ライブに行くことが好きです。「NO LIFE IS NO MUSIC!」で音楽の力も支えに、組合活動もやっていきたいです。

さくらんぼの会分会の濱田康作と申します。この度障害協の副議長となりました。簡単なプロフィールですが、年齢は34歳、12年目で現在は相談支援専門員として勤務しています。2児の父親で子育てをしながら趣味であるギターを週末にはスタジオで楽しんでいます。今後ともよろしくお願いします。

さくらんぼの会は2014年5月に分会化をしたばかりです。人数としては多くの方が加盟してもらっていますが実質的に活動をしている方は限られている状況です。今年の障害協では各職場、分会の交流をたくさんしていくことが掲げられています。他職場の状況を知ることで自分たちの置かれている労働環境が見えてくると思います。毎月の会議だけでなく自治体交渉や交流会など様々な取組に多くの方が参加できるような仕組み、工夫を1年かけて考えていきたいと思っています。



## ★ 分会レポート(近況報告)!

今回の分会レポートは、長年、障害協を支えてきたゆたか支部と新たに加盟したTUTTIの新旧2分会にそれぞれの分会の状況や活動を発表していただきます。

各分会の取り組み等このレポートを通して、学びや元気がもらえる機会にしていきたいと思います!!

### ゆたか支部の紹介 平岡

ゆたか支部は、ご存じのようにゆたか福祉会の職員の労働組合で、現在は29名の組合員がいます。名古屋市内の10の職場に点在しているので一堂に集まるのがなかなか大変です。

組合員は、障害のある方と一緒にパンを作ったり、給食を作ったり、ウエス(工業用ふきん)を作ったり、あるいはビンや缶やペットボトルを回収したりする仕事をしている人や24時間の生活施設や相談支援をしている人がいます。

組合役員は、三役が60代で、とても経験豊富で、寛容に満ち、冗談を理解し、東海地本の宝と言っても過言ではありません。いつも集まると、年金のこと、病気のこと、体調の事に話が弾みます。人生の先輩として、若い人を導く力があります。

そうした力もあって、この頃は若い人が加入し、「パートでは〜と話そう会」という職場に悩みを話せる場も出来たりして、この半年で6人が新たに組合に加入しました。また役員も新たに2名が参加し、微妙に若返りが進んでいます。

障害種別に参加していくとともに、青年部にも顔を出し、楽しい組合作りを進めていきたいと思います。みなさん、よろしく。



### これからよろしくをお願いします!

この8月から社会福祉法人TUTTIから初めて2名の職員で労働組合「福祉保育労」に加盟しました。加盟したばかりでまだ分からないこともありますが、障害協をはじめ、みなさんが参加される会議に積極的に参加しながら勉強していきたいと考えています。

TUTTIは、名東区の北東部に位置して生活介護、就労継続支援B型、グループホーム(一か所)、相談支援を行っている施設です。職員は管理者を含め常勤正規職員が12名、常勤・非常勤の時間給職員は15名と規模の小さな施設です。組織がまだ小さく、労使関係の線引きがはっきりしていない部分もあるため、組合としての立場をしっかりと持ち職員の声を要求として訴えていけるよう頑張りたいと思います。

福祉現場に働きながらこの仕事で「生活〜今の社会で心豊かに暮らせる糧〜」と「生きがい〜この世界に生まれた人たちが等しく暮らせる社会実現〜」を持ち続けられるようにと考え気づくと!一人では大変!! 周りの人たちと連携・連帯しながら自己要求の実現に「たんたん」と交流しながらお世話になっていきます。

(柳瀬、草野)



## ★ ホットなトピック(名北福祉会平和コンサート等)



名北福祉会では9月6日(土)にめいほく保育園隣の上飯田南公園で平和コンサートを開きました。毎年平和へのとりくみとして開かれてきた平和コンサートでしたが昨年は開くことができず、今年こそはの思いを持って組合主導で実行委員を立ち上げ企画していきました。当日は途中雨が降りましたが、たくさんの方の協力もあり会場を保育園に移し最後までやりきることができました！

出演者は演奏や歌だけでなくそれぞれ平和への思いを持ち寄り、それを伝える。模擬店出店者も平和へのメッセージを掲げるなどして、平和への思いを発信できる場にしました。また、各出演者のステージの合間には平和へのアピール発言もはさみ、見に来た人もあらためて平和について考えられるような、「平和」を中心にみんなが集まりつながれるコンサートになったのではないかなと思っています。

模擬店収益は16022円の利益がでて、ふくしろう基金と名北9条の会へ8000円ずつ寄付することができました。

今回平和コンサートを開いたことで、今の情勢の中でひとりひとりが平和について考えること、平和への想いを発信していくことがとても大事なことだと実感することができました。人が人と関わり、つながりながら自分らしく精一杯生きていけるような平和な日本、世界であってほしい！平和コンサートは地域に根ざした平和へのとりくみとして今後も続けていきたいと考えています！

めいほく障害部分会 塚本洋平

## ★ 相談支援に関わる来年度予算懇談 報告

11月27日(木)名古屋市役所にて障害者支援課と相談支援に関わる来年度予算について懇談の場を持ちました。名古屋市からは新美係長、亀山さん、福保労からは藤原さん(書記局)、相川さん、坪谷さん(みなと福祉会) 梶村さん(めいほく障害部分会)、濱田(さくらんぼの会分会)が参加をしました。

結論としては相談支援に関わる来年度予算については今年度と同様という報告でした。障害者支援課として現場からの要望を何らかの形で反映できるように1件あたりの単価を少しでも高く設定することや1件単位で補助が算定される仕組みなどを提案しましたが、27年度予算は前々年度(25年度)の決算値を基礎とすることや補助金の仕組みが変わった26年度最終的な決算値が出ていない中で予算要求の根拠となりづらいという理由で要求が通らなかったとのことです。

しかし、逆にいうと26年度の決算値が基礎となる28年度予算で見直しができることとなります。予算要求の議論が始まる27年度の夏が大きな山場となりそうです。

懇談の中で新美係長からは現場の大変な実態は十分理解しているということや、相談支援は数字だけではわからないもの＝行間が大事な仕事であるという発言があり、私たちと同じ方向を向いて頑張ってくれていることを実感できました。「福保労はじめ他の現場団体の皆さんからも沢山の声を頂いて、相談支援事業については本当に大事な課題と理解しています」と、私たちが、昨年の予算案の時点から懇談を重ね声を届けてきたことが伝わっていると感じられました。今後障害者支援課として26年度のトータルな状況をつかむために全事業所への実態調査を行う予定です。組合側からもそれぞれの分会で相談員の人件費、事業費などの支出について、国の単価と合わせてどのくらいの補助金でやっていけるのかという数字の根拠をしっかりと提示することが重要になってきます。来年の夏に向けて障害協として準備を進めていしましょう！そして、せっかくの産別労組として、中央本部が行う厚労省交渉に参加し、直接国にも声を届けていしましょう！

さくらんぼの会分会 濱田康作

## ★ 新入組合さん紹介！！今月は…

今年10月から福祉保育労へ個人加入させて頂きました「飯田和則」です。

私は、今年7月から三重郡菟野町の「社会福祉法人鈴鹿聖十字会」に再就職し、菟野聖十字の家という障害者施設で勤務しております。40才で以前から関心があった福祉の職に他業種から転職し、5年間滋賀県にあります重症心身障害者施設B学園で嘱託職員として勉強させて頂きました。残念ながら正規職員とはならず(39才以下、短大専門学校以上等の条件)、現法人へ転職しました。

現職の「社会福祉法人鈴鹿聖十字会」では、求人案内書類にも「労働組合あり」との表記があり、平成25年9月現在で約230人程の加入者(正規職員全員)がおり、毎月一律1,000円の組合費を給与より引かれています(新規職員への説明は全くなし)。しかし、現状では労働組合の活動や集会は全くされておらず、勿論、経営陣との交渉も一切行われていません。今では組合委員長や役員が誰かも職員の殆どが知らない状況でした。組合費の半分は職員の慶弔費用、半分は忘新年会の飲食の一部に使われているようで、互助会的な意義しかないような状況です。勿論、職場での給与や労働環境での諸問題が多数あり、職員の不満も多く聞かれました。組合委員長は「組合活動などを行う事によりトップから不当な対応を受けるのが心配で、組合活動を行わずらい」との意見が聞かれ、事実、以前にも不当な処遇で退職した職員も多くいるそうです。昨年には経営者側から「なにもしていない組合は解散したら」との圧力もかけられたそうです。

私は、前職で福祉保育労へ加入していた為、福保労東海地本へネットで相談させて頂きました。面談の際、まずは個人で非公然的に加入し、勉強しながら職場の現組合の事を考えるとのアドバイスを頂きました。まずは個人的に業界での現状や他職場の活動について勉強させて頂き、労働環境改善の一手段としての組合の重要性を理解してもらい、仲間を増やし活動を広げ、最終的には利用者にとっても最良の施設になれるよう頑張ります。



## ★ わたしのおススメな1冊 紹介

私がおススメしたい1冊は、五木 寛之さんの、



「 青年は荒野を目指す 」 です。

この本の内容を簡単にお話ししますと、ジャズが好きな青年が海外一人旅をして、いろいろな人に出会い、成長していくというお話です。私も若い頃に、海外一人旅をしました。旅の途中何度も読み返していました。

まだまだ寒い日が続きますが、心が熱くなる一冊です。ぜひ、ご一読を！！

みなと福祉会分会 山口 剛

「たきこみごはん」では、皆様の投稿をお待ちしています！

どんなことでも構いません。ご意見・ご感想などもお寄せください。

E-mail takikomigohan06@yahoo.co.jp